

第3回県立学校統合校校章等選考委員会 会議録

1 開会及び閉会に関する事項

開会 平成 29 年 8 月 30 日（水） 13：30

閉会 16：28

2 場所

高知会館 3 階「飛鳥」

3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	高知工科大学	教授	重山 陽一郎
	高知大学	教授	藤田 詠司
	高知南高校	副校長	岡田 圭司
	高知西高校	副校長	高野 和幸
	須崎工業高等学校	副校長	北村 晋助
	須崎高等学校	副校長	藤田 勇人

4 高知県教育委員会事務局の出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	高等学校課課長	高岸 憲二
〃	高等学校課企画監	山岡 正文
〃	高等学校課課長補佐	藤田 優子
〃	高等学校課再編振興担当チーフ	池上 淑子

5 傍聴

3 名

6 内容

【開会】

事務局 （司会）	定刻になりましたので、ただ今から、「第3回県立学校統合校校章等選考委員会」を開催いたします。 私は、本日の進行役を務めます、高知県教育委員会事務局高等学校課課長補佐です。よろしくお願いいたします。 では、開会にあたりまして、高知県教育委員会事務局高等学校課課長より挨拶を申し上げます。
課長	皆さん、こんにちは。この場で失礼をいたします。 県立学校統合校校章等選考委員会の委員の皆様におかれましては、本当にお忙しい中、また今日もこのように暑い中、お集まりいただきありがとうございます。 この会も、第3回目を迎えることになりました。本日の会におきましては、国際中学校・高等学校の制服についての協議を前半行っただき、後半につきましては、須崎総合高等学校を含めた、校章候補の協議を行っていただくことになっており

事務局 (司会)	ます。 限られた時間ではございますけれども、各委員の皆様方の専門的な見地から、いろんなご意見を出していただきながら、子どもたちにとってより良い制服、より良い校章となるよう、ご協議いただけたらというふうに思っておるところでございます。 時間的にも、短い時間で申し訳ないんですけれども、いろんな角度からご意見をいただきまして、深い協議ができればなというふうに思っておりますので、今日もどうぞよろしくお願いをいたします。 簡単ではありますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、本日ご出席の委員の皆様を紹介させていただきます。 高知工科大学システム工学群副学群長教授、重山陽一郎委員 高知大学教育学部学部長教授、藤田詠司委員 高知南高等学校副校長、岡田圭司委員 高知西高等学校副校長、高野和幸委員 なお、校章候補の協議からは須崎工業高等学校副校長、北村晋助委員と、須崎高等学校副校長、藤田勇人委員が出席されます。 委員の皆様、本日はどうぞよろしくお願いいたします。 次に、本日の日程について説明させていただきます。次第をご覧ください。 この後、制服候補の提案、校章候補の第1次選考の順で協議することになっておりますので、よろしくお願いいたします。なお、校章候補の第1次選考につきましては、非公開とすることを、第1回の当選考委員会で決定しております。 次に、配付資料について確認させていただきます。 クリップ止めの、次第が表紙になった資料が1部ございます。上から、次第、設置要綱、委員名簿、制服候補用といたしまして資料1と2、校章候補用として資料3～5及び参考資料1～3となっております。また、別紙として「本選考委員会の傍聴要領」がございます。不足している資料がありましたら、スタッフまでお知らせください。 次に、傍聴に関してのお願いをお伝えします。 本選考委員会では、傍聴要領のとおり、私語や拍手など会議の支障となる行為をしないようお願いいたします。協議中にこのような行為があった場合、会長が注意し、なお、改めない場合は、申し訳ございませんが、退場していただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。 それでは、議事にうつりたいと思います。ここからの進行は、当選考委員会会長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
-------------	--

【制服候補の提案】

ア 第2回選考委員会の結果等について

会長	はい。それでは、次第にしたがって会を進行いたします。 これから、3の内容、(2)制服候補の提案に入るわけでございますけども、まず最初に、「第2回選考委員会の結果等について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	県の高等学校課です。よろしくお願いします。座って説明させていただきます。 まず、資料1をご覧ください。資料1は、第1回の選考委員会で既に配布しておりますけれども、確認のため、県教育委員会の方針と制服決定のスケジュールを載せております。「イ 制服決定のスケジュールについて」にありますように、5月25日の第1回選考委員会では、「ア 制服決定に関する県教育委員会の方針」の内容確認と、制服候補の選考方法を決定いたしました。 続きまして、資料2をご覧ください。 7月12日の第2回選考委員会では、高知国際中学校・高等学校の制服を提案してもらう制服メーカーを、プレゼンテーションをもとに決定いたしました。 第2回選考委員会のプレゼンテーションには、2社が参加しました。2社のプレゼンテーションを委員の皆様で審査し、高知菅公学生服株式会社に、高知国際中学校・高等学校の制服候補の提案をしてもらうことが決定いたしました。 高知菅公学生服株式会社は、高知国際中学校・高等学校の制服のコンセプトを明確に示し、そのコンセプトに基づいた特色のある制服を複数提案してくれた、という点で高く評価されました。 審査の後、選考委員会の方から、「高知の暑さ対策として、ネクタイやリボンをつけない開襟シャツの制服も提案してもらいたい」という、追加のコンセプトが出されました。第2回選考委員会後、高知菅公学生服株式会社さんには、ネクタイやリボンをつけない形の制服も提案してもらうようお願いをしております。 提案してもらう夏服・冬服のセットの点数は、余り多くなく4、5点が良いという意見もございました。 本日の第3回選考委員会では、第1回選考委員会で決定しましたように、制服の夏服・冬服のセット4組以上の制服を、メーカーに提案してもらうようになっております。高知菅公学生服株式会社さんが、ネクタイやリボンをつけない形のものも含めた形で、今日、4組以上の制服の提案をしてくれることになっております。 以上でございます。
会長	はい、ありがとうございます。ただ今、事務局から説明があ

	りましたけれども、質問等がありましたらお願いいたします。特にございませんか。 はい。特にご質問がないようですので、では、事務局の皆様、制服の提案の準備をお願いいたします。 〈 制服提案の準備 〉
--	--

【制服候補の提案】

イ メーカーによる提案

会長	準備できましたか。 それでは、高知菅公学生服株式会社さん、高知国際中学校・高等学校の制服の提案をお願いいたします。
菅公学生服	改めまして、皆様、こんにちは。 私たちは、高知菅公学生服株式会社です。今日もよろしくお願いいたします。 まず、この度は、国際中高の新制服の提案に際しまして、私ども高知菅公学生服が提案をさせていただきました商品、並びにプレゼンテーションに対して、ご指名をいただきまして誠にありがとうございます。深くお礼を申し上げます。ありがとうございます。 私どもが考える新制服は、伝統を継承しながらも、生徒の心や体に寄り沿い、これからの歴史を刻むためにふさわしい制服、デザインを、これから、本日ご提案いたします。 私どもの持つ情報、ノウハウを最大限に発揮し、新たなスタートにふさわしい制服をご用意させていただきました。また後ほど、各商品のデザイン面であったり、特徴のところは、担当デザイナーの方からご説明をさせていただきます。 大まかに見まして、こちら、向かって左手２体が第２回のプレゼンの時にご提案をさせていただきまして、我々が自信を持ってオリジナルで作らせてもらった制服です。 それと、第２回の結果を得まして、それから、先ほど事務局の方からお話していただいたとおり、あと数点欲しいであったり、細かいご要望のところを埋める、付け足すという形で、本日またご提案をさせていただきました。 これが全て、というわけではまったくありませんで、もちろん色々なパターンをご要望であったり、また、こういったものがあるだろうとか、こういった色はないだろうとか、といったことがたくさんあるかと思っています。 本日は大まかに、オーソドックスで大まかに、こういった形のものという基本路線になるものが、もしそこまで決めることができましたら、あとはまたこれから追々、次回に向けて、基本をベースとしてさらにそこを、どんどん付け足していくという形でまた、ブラッシュアップしていきたいと思っております

菅公学生服	ので、そのような形で見ていただけたらなと思います。では、よろしくお願いいたします。 それでは、デザイン説明させていただきます。 では早速ですが、デザイン紹介にうつります。資料は3ページを、まずお開きください。 資料3ページには、近隣の高校の制服を載せています。デザイン検討にうつる際の参考にさせていただければと考えております。 本日はコンセプトに合わせて、制服デザインを5タイプご用意いたしました。 資料5ページをお開きください。 まずは、タイプ1。タイプ1は、上品さ漂うブレザースタイルです。国際的なイメージを与えるグレーの中に、爽やかなブルーをアクセントカラーに取り入れたスタイルです。襟元には、こちら、紺色の切り替えを付け、引き締まる印象を与えます。 シルエットが気になる女子生徒様には、こちらの脇から裾にかけて切り替えが入っています。体つきが、中学生から高校生になると、女性らしく変化する時期ですので、女性らしいシルエットを保つような仕様になっております。 また、女子の冬のスカート柄、こちらは坂本龍馬の着物の色である茶色をプラスしています。国際的な学校でありながらも、地域に根差す学校として誇れる制服をご提案いたします。 さらに、男女のボトム柄、こちらには反射糸を織り込んでいるオリジナル生地をご提案いたします。暗い夜道、ロービームでも安心の素材です。本日懐中電灯をご用意していますので、ぜひご覧ください。 良かったら、ぜひ見てみてください。 近くで実際に見てください。反射させる感じで。 〈 オリジナル生地の反射確認 〉 見ていただいたように、光るような素材を使っております。暗い夜道でも安心の素材をご提案いたします。 また、中高の識別には、ネクタイ・リボンで識別できるタイプとしてご提案いたします。中学生には、爽やかな印象を与えるブルーのネクタイ、今付けている、こちらのブルーをご提案いたします。高校生には、落ち着いた印象を与える茶色のネクタイ・リボンをご提案いたします。 続いて、夏服、男女共にサックスの色合いのニットシャツとしてご提案いたします。涼しく爽やかな印象を与えるデザインでご用意いたしました。袖の部分には、オリジナルの刺しゅうを入れさせていただきました。
菅公学生服	

続いて、資料 6 ページをご覧ください。

タイプ 2 の商品についてご説明いたします。タイプ 2 は、ジャケット、ベスト、スラックス、スカートでコーディネートした、洗練されたスーツスタイルをご提案いたします。深みのある紺の中に、グレーとブルーを織り込んだ生地をご提案いたします。

また、シャツは、襟元が白色、身頃部分がストライプの生地を使用した、クレリックシャツをご用意いたしました。知的な印象を与え、合服の状態でも他校との識別をすることが可能です。

こちらの中高の識別には、同じようにネクタイ・リボンをご提案いたします。中学生らしい元気な印象を与えるエンジのネクタイ・リボン、高校生には爽やかな印象を与えるブルーのネクタイ・リボンをご用意いたします。

また識別には、中高、また学科の識別もできるように、ラペルピンをご提案いたします。おしやれに愛校心を高めることができます。

夏服には、冬服と同じクレリックシャツを。制服全体に統一感が生まれます。

続いて、資料は 7 ページをお開きください。

続いて、タイプ 3。タイプ 3 は、伝統漂う詰襟、セーラースタイルです。こちら、詰襟、セーラー、スラックス、スカートに使用している生地には、表面に凹凸があり、さりげなくストライプ柄が入った重厚感ある生地を使用しています。

また、男女の襟元には、ブルーのアクセントカラー付き。学校のカラーが一目で分かり、爽やかな印象を与えます。

女子のスカートは、ダブルプリーツスカートにてご用意いたしました。近隣ではあまりなく、女性らしい印象を保ちます。

中高の識別には、リボンの色で識別する方法を今までご提案してまいりましたが、こちらの上着に付いているボタンの色を変更することで、識別することも可能です。

また、夏服は、可愛らしいセーラー襟スタイルをご提案いたします。冬服と合わせて、襟元にはアクセントカラー付きのスタイルです。

続いて、資料 8 ページをお開きください。

タイプ 4。タイプ 4 は、グレーとサックスを使用した、爽やかなブレザースタイルをご提案いたします。紺のジャケットにグレーのスラックス、スカートを組み合わせた、生徒人気の高いコーディネートです。ネクタイ・リボン、スラックス、スカートに、コンセプトカラーのブルーを取り入れました。

襟元とポケット口には、ブルーのアクセントカラーを。細部にまでこだわり抜いたデザインをご用意いたしました。

また夏服ですが、夏服は、前回のプレゼン時にご要望に上がりました、開襟シャツをご用意いたしました。襟元にサックスラインが入っており、他校との識別も可能です。胸元には、高

	知国際中高の生徒であると一目で分かる刺しゅう入り、学校のオリジナル性を詰め込んだデザインです。 今回はタイプ4としてご提案いたしますが、タイプ1のデザインと組み合わせていただいても、可愛いデザインです。 では続いて、資料は9ページをお開きください。 タイプ5のご説明をいたします。タイプ5は、学校のオリジナル性をふんだんに取り入れたスタイル。ジャケットには、近隣にはまったく採用されていません、千鳥柄のジャケットをご用意いたしました。 今回は、茶色と黒の生地にてご用意しておりますが、コンセプトカラーのブルーや、サックスを織り込んだ生地でもご用意することが可能です。本日、何点かの生地をご用意しておりますので、後ほどゆっくりとご覧ください。 ネクタイ・リボンには、ボーダー柄を。トレンドを取り入れたデザインをご用意いたしました。 また、インナーのシャツ、こちら、中学生は白色、高校生はサックスのニットシャツを。一目見ただけで、中高の識別をすることができます。 夏服ですが、夏服は涼しげなオーバブラウスをご用意いたしました。こちら、ご要望にございました開襟のタイプになっております。第一ボタンが開いているので、授業中も快適に着用していただくことができます。 以上で、制服のデザインについては終了いたしますが、続いて、成長機能について少しご紹介させていただきます。 中高と制服を着用される際、全国で成長についてお困り事の声をよく伺います。中学生から高校生にかけて、10cm、20cmほど伸びる方もいらっしゃると思います。 ご用意いたしました制服には、袖が3cm伸びる仕様を付けております。ご家庭で針と糸がなくても、付いている糸を切るだけで、3cm伸びるような仕様をご用意しております。最大6cm伸ばす仕様もご用意しておりますので、ご安心ください。 また、男子生徒様のスラックス、こちらにはヒップとウエスト部分にかけて、サイズアップすることができます。 女子生徒様のスカートは、丈を伸ばせる仕様をご用意しております。ウエスト部分には、最大6cmの調節することができるアジャスターを付けていますので、成長しても安心の機能をお付けしてご提案いたします。 以上で、制服のデザイン、機能についての紹介を終わらせていただきます。後ほど、ぜひ、ゆっくりとご覧ください。
会長	高知菅公学生服株式会社様、ありがとうございます。 委員の皆様、ただ今の提案について質問等がありますか。 あるいは、まず最初にちょっと触ってみますか。
菅公学生服	現物を見ていただいて。

会長	じゃあ、しばらく時間を取りますので、眺めるなり触るなりして、お願いします。 〈 制服候補内覧及び質問 〉
菅公学生服	どうしてもトレンドィな、ブレザースタイルだったら、他の学校さんともかぶるし、また国際中高は、立地がどうしても土佐塾から近かったり、春野とも近かったり、だからやっぱり、メインのブレザーって一番オーソドックスなんですけど、結構識別が難しいですね。 考える時に、南高校さんも西高校さんも、もともとスクールカラーがブルー系なので、グリーンとかキャメルとかっていう色はどうかなと。それともやっぱり、グレーやブルー系かなと思いつながら。 光るライン入りのスーツだったり、濃紺のスーツであったり、グレーのタイプであればまだ、多少、他校さんとの識別はしやすいかなとは思っていますね。
委員	これは反射するんですか。
菅公学生服	これは、反射はしないです。
委員	どれがするんですか。
菅公学生服	こっちの方。こういう格子柄であれば、また決まった後に、それに反射糸を入れることができますので。
会長	コンセプトは、逆にどこまで決めればいいですかね。こんな色の組み合わせまで、我々が決めるという。
菅公学生服	そうですね、アバウトのデザイン、例えば、じゃあグレー系のブレザーになっちゃうとか、やっぱりコンベンションとか、スーツにしようかっていうところぐらいまで、ざっくりやっていただいたらと思うんです。次の提案の時に、今度はそこに絞ってまた、いろんなものが見せできますので。
菅公学生服	確かに、海外まで着て行くということであれば、割と向こうは、イギリスのクラブジャケットとか、イートンカレッジとか、あっちの方は割にストライプ柄のジャケットとかがあったりするのです。 結構それぞれが割に、比較的、これでもトラディショナルなスタイルだとは思っていますね。
委員	ネクタイの色の組み合わせとか、そういうのも変えられます

	か。
菅公学生服	変えられます。逆にネクタイの色とかは、それこそまた、アバウトな方向さえ決まれば、もう本当、ショールームとか行けば、200本も300本も手近なものがあるので、それはまた見本帳を見ながら合わせれば。
委員	次回でも、ちらっと見させてください。あと、ソックスの種類とか。そこら辺はもう、国際中高にお任せいただいて。
菅公学生服	そうですね。
委員	基本形ぐらい決まれば、あとは、リボンなのかネクタイなのかは、もう。
菅公学生服	はい、基本的なスタイルを決めていただければ。 グレーをご用意しておりますので、一番理想に近い製品ではあると思います。
委員	委員さんに多分それぞれ、国際中高のイメージがあると思うので、それはまたこれから議論して決めていただいたらなあと思います。
菅公学生服	ほとんどのこのタイプはベスト、とりあえず今回は、ニットベストであったり、生地ベストであったり。
委員	こういう関係で多分、これ着てるんで、結構女子は寒くなって着たりするんですよ。
菅公学生服	そうですね。まあトレンドとしては、やっぱりブレザー型とベストっていうのが主流は主流なんですけど。逆に、スリーピースだったらすごくトラディショナルで。また、デザインは新しいものが出てきて、すごくスッキリしていて。
会長	男性のスリーピースは、これはなかなか全国的にも、結構恰好いいなと思って、今見てた。
菅公学生服	スーツスタイルが少ない、夏にはそう脱げないし、やっぱり、ブレザーの方がどうしても、女子高生らしいというイメージがあるので。逆にスーツだって、僕らは提案したらいいなと思うんですけども。 特に今回、国際中高って中学生がいる。中学生にはちょっと大人っぽ過ぎるかな、っていう意見もあるんです。

委員	確かにスニーカーに似合うのかどうかもある。
委員	これは、靴はどれを、その指定を。
菅公学生服	指定の所はあまりないですね。 あくまで推奨品という形です。黒とかもあればいいとかいう形で。あまりそこは、縛りがありません。また結構お金がかかったりとかするので。
委員	ソックスはまあ、ワンポイントまでですか。
菅公学生服	最近ストッキングのレニーロールっていう裏地があるんですけども、レギンス・スパッツみたいな薄いやつを履いてるんですけども。
委員	逆に折り曲げは？ 短くする時に。
菅公学生服	通常スカートですと、上の部分が垂直になっているので、折るときれいにヒダになって、バレない。バレないんですが、このようにカーブでできているので、折るとヒダがぐちゃぐちゃになってしまうので、折れないというか、折りにくい。
委員	我々は、この飾りベルトを出した方がおしゃれなので。出した方が正しいですって言ってあげると、これを隠さないという傾向があります。でも、シャツをきちっと中に入れてベルトを出そうというのと、逆のことをすぐにしたくなるので、この方が可愛いよと言ってあげると、あっそうかなっていう風に思う、そういう心理を突きますよね。
菅公学生服	上が曲げれないので、下の裾を切る生徒がいるんですが、それを防止するために、裾の方に刺しゅうを入れていただいて、切ったか切っていないかが分かるようにしようと。
会長	おそらく今回は、あまりそういう生徒はいないとは思いますが。
委員	普通のこのタイプ、この推奨ベルトにすると何センチか入れるということですか。
菅公学生服	こちらのタイプですと、メーカーでそれをちらっと聞いたんですけど、折込みを防止するために中に固いプレートを入れることができるので、折れない仕様になっています。
委員	シャツは、金額的にどれくらいのタイプ。

菅公学生服	そうですね、オーソドックスな堂々としたスタイル。こっちは白ですが、やはりシャツは、最近、一番新しい定番商品でニットシャツ、特にノーアイロンで乾きやすく、比較的涼しい。このタイプが一番、これだったら我々、大量生産してますから。 折りなどの面で誤差があるんですが、4,500円から5,000円くらいなので。ほとんどシャツが一番、途中で買い替えが多いと思うんですね。
委員	そうですね。高校生だと皮脂で買い替えが結構。
菅公学生服	お父さんと、お母さんも働かれています家庭が今は多いと思うんですね。やっぱり、お母さんがアイロンをかけなくても、夜洗って乾くというような速乾性もある。扱いはしやすいです。乾きやすいです。ご家庭の方に少しでも手間をかけさせないように。 これが一番安いやつですけども、やっぱりどうしてもアイロンが必要になるとか、乾きにくい。
委員	開襟にする時の襟のデザインだとか。
菅公学生服	そうですね。今日、とりあえず2種類持って来たんですけども、リボンなしで開襟タイプ。これも結構たくさんデザインがあります。主にやっぱり、高知県の場合は、女子の制服がオープンブラウスとかが多いので。一番高知県で多い綿織りタイプのオープンブラウスで、こんな感じで。 透けるのを気にされる女子生徒さんや親御さんもいますので、セーラーとオーバーブラウスの、ちょっとしっかり目の生地で透け防止にしています。むしろ白でしたら、これくらいのかちっとした生地で、透け防止にしています。 こちらのボタンはブルーなんです。第一ボタンをなくしています。 開襟シャツ本体の薄さを気にされるのでしたら、ポロシャツタイプですと、透けが多分気にならない素材ですし、普通のボタン型の仕様なので第一ボタンを開けてもらってもいいです。
会長	私が心配しているのは、どこまで、こまかくこの委員会で決めればいいのかがわからないです。 多分ポイントは、ブレザーなのかスーツなのか、おおよそのデザインを決めて、あと、シャツの色とかネクタイとかは後で決めてくれると。 夏はどうしましょう。

委員	特に女子だと思いますけど、どのタイプにするかを決めていただけたらいいかなと。
菅公学生服	セーラータイプとか、オーバーブラウスタイプ、ポロシャツ、大体この辺が割と普通の半袖で、もうこの辺が普通の半そでです。
委員	ちょっと女子の夏服が比較できる何かこう、できませんか。
委員	できないですね。
菅公学生服	基本的なタイプで、これがその半袖シャツ。それと開襟、ブレザーとではポロシャツタイプ。 それと、個人的には結構、こういう形のオープンブラウスタイプ、それと最後に夏のセーラータイプですね。これなんかも結構。こっちが中学生向けで、ちょっとやっぱり可愛いデザインなので、中学生向けですね。 この辺が一応、大まかな中で大分類でいうと、この辺の種類なのかなと。
菅公学生服	こと高校だけに限っていうと、やっぱりポロシャツが、気温の調節ができるというので多いですね。結構、ポロシャツとこういう開襟シャツの２種類用意して、どちらか好きな方を選ぶということですね。
委員	男子は単にそれだけですね。もしくはポロシャツですか。
菅公学生服	逆に男子がハマカラー、最近、逆にあれ、裾を出したりするとすごくだらしがない。かといって、開襟で裾を入れると、子どもらは何かダサいって言うんですね。あまり、子どもらには嫌がられます。男の子は特にそうです。で、ショート丈で裾だけ出しといたら、男の子にはとりあえず支持されますね。
委員	裾はあまり出したくないですね。
菅公学生服	あともう、冬服の醍醐味としては、ブレザータイプ、スーツタイプ、それと、ああいうツインセットタイプというところが、大変特徴になります。で、ブレザータイプ、スーツタイプの中でももちろん、シングルなりダブルなり、二つボタンにするかっというのは、多少ありますね。 県内では紺のブレザー、ボトムも紺系っていうのが結構多いですね。須崎高校とか。あとは、紺グレーとなるとやっぱり、土佐塾さんとかいうところですね。

委員	これとこれにしても、このタイプもできるということですね。
菅公学生服	できます。こういうプリーツにしてこのタイプにすることもできますし、今回お持ちしました生地で、この仕様を取り入れるっていうことも可能です。こちらの生地で、このタイプの仕様を取り入れることも可能です。
菅公学生服	採用としては、県内で、須崎総合高校はこのタイプということですね。それと丸の内高校さんも、ベストではないですけどこのタイプ一式ですね。それと、大方高校さんはボトムが軽いということで、これだけ使っていますね。 平成 15 年以降ぐらいは、割とその時、スカートを短くするってというのが結構、世の中のトレンドだったのが、割と巻き込み防止のデザインが再々問われました。逆に伊野商業さんなんかは中に入っている板が痛いとなって、何年か後にそれを外すということもありました。
会長	ひと通り質問は終わりましたか。
各委員	はい。
会長	質問も全て終わりましたら、一度席にお戻りいただけますか。 〈 着席 〉 どうもありがとうございました。では、高知菅公学生服株式会社様、一旦お席へお戻り願います。

【制服候補の提案】

ウ 意見聴取について

会長	では、次回の順位付けに向けて、意見聴取をどうするかについて、事務局の方から提案をお願いいたします。
----	---

事務局	はい。説明をさせていただきます。 資料１の「イ 制服決定のスケジュールについて」をご覧ください。第３回選考委員会と第４回選考委員会の間に、「学校関係者等への意見聴取」というところがございます。この意見聴取に関して、この前、「高知南中学校・高等学校や高知西高等学校の在校生から制服についての意見聴取ができないだろうか」、という意見をいただいております。 それにつきましては、資料２のウをご覧ください。 この点、在校生の意見聴取について、先進事例を確認してみました。在校生への意見聴取を行ったかにつきましては、在校生全員へのアンケートを行ったのが８校、在校生全体ではなく、生徒会への意見聴取を行った学校が４校、在校生への意見聴取を行っていない学校が９校となっております。 次に、学校外の方、すなわち在校生や学校関係者、学校評議会も含め、学校関係者以外の方に意見聴取をしたかどうかということについて、先進事例を確認してみますと、学校外の方への意見聴取を行っている学校が７校、行っていない学校が１４校というふうになっております。 学校外の方への意見聴取を行っている７校について確認してみますと、７校のうち６校が、近隣の中学校への意見聴取ということになっておりまして、残りの１校については、立地市町村、立地市内の女子高への意見聴取というふうになっております。 このように、概ね近隣の中学校の生徒へのアンケートということになっておりまして、校区内の中学校というところが想定されているということになります。 これから制服を着る方という視点で考えた場合、平成３０年に開校の高知国際中学校では、県内全域を校区としており、校区内の小学校を対象とすると、かなり広範囲になるということが想定されます。 こうした点を参考に、高知南中学校・高等学校や高知西高等学校の在校生にアンケートを実施すべきかどうか、ご検討をお願いしたいということと、合わせまして、学校外の方への意見聴取についても、ご検討をお願いしたいというふうに考えております。 もう一つの検討事項といたしまして、１０月の第４回選考委員会の前に、もう一回、臨時の選考委員会を開催する必要はないかと、ご審議していただきたいということでございます。 制服につきましては、今回初めて、夏服・冬服、そして男子・女子の制服を、それぞれ５点提示していただきました。高知菅公さんからは、しっかりとしたコンセプトに基づきまして、制服を提案してくれましたし、提案の中身を見る限り、機能性、デザイン、生徒指導面で、よく配慮されているというふうに思いました。 ただ、本日の選考委員会では、この後、校章の第１次選考も
-----	---

	あり、限られた時間の中で、委員の皆様には十分な検討をしていただける時間が、取れてないのではないかとといったような懸念もありました。 委員の皆様には、それぞれの候補について、じっくりと高知菅公さんからの説明を聞いたうえでご検討をいただき、ご意見を集約する機会を、また第4回選考委員会までに設けてはどうかということも、ちょっとご提案させていただきたいというふうに思っております。 仮にまた、臨時の選考委員会を設けるといった場合は、学校関係者等への意見聴取は、その臨時会の後に行いたいというふうに考えております。以上でございます。
会長	はい、ありがとうございます。今、事務局から2点の提案がありました。意見聴取の件と、それから、臨時の選考委員会ですが、まず意見聴取の件から委員の皆様のご意見をいただきたいと思えます。 先ほど説明がありましたとおり、説明の中では主に在校生への意見聴取とか、学校外の方への意見聴取をどの程度行っているのか、行っていないのかという、データも示されましたけれども、これを参考にしながら、この委員会でどうするかということを決めなければいけません。 先ほどの説明の中で、学校さんはどんなふうに考えているのかというような、何かありましたかね。
事務局	はい。
会長	もしあれば、ちょっと補足をお願いいたします。
事務局	前回、学校の方でどう考えているのかというようなことについて等、ありましたので、それについて確認したところ、これからとなると、9月からの学校としては、A0入試とか、二学期は体育祭の準備、そしてちょうど西高校も南高校も周年行事、西高の場合は60周年、南高の場合は30周年、南中の場合は15周年といった周年行事も始まるので、時期的にそういった行事が立て込んでいますので、ちょっと在校生へのアンケートというのは、できれば避けてほしいと。 二学期は入試への準備とか行事も多くて、そういった部分に集中させたいので、在校生の意見を聴くことは、できれば避けてほしいというような回答でございました。
会長	はい、ありがとうございました。ということのようですが、いかがいたしましょうか。 まず、在校生への意見聴取を行うかどうか。それから、学校外の方への意見聴取を行うかどうかなんです。

委員	かまいませんか。
会長	はい、どうぞ。
委員	意見聴取についてですけれども、事務局の方からお話がありました、これからの、統合された新しい学校になっていくというところで、県外の例でも、これから入学して来る、高校だったら中学生ということですが、そういうところに聴くというのがいいのかなというふうに思います。 そして、中学校の方が早速開校されるということですので、小学生から何か聴くことができないのかなとか、これからということになると、近隣の小学校、中学校の生徒さんから聴くという可能性もないのかなというふうにも、思うんですけれども。
会長	つまり、在校生に聴くのではなくて、近隣の小学生に話を聴いた方がいいんじゃないかと。
委員	そうです。これから、統合されたらここに入学をして来るとい、そうですね。
委員	高知国際中高は、全県一区なわけで、近場の小学生だけに聴くというのは、ちょっと、私たちも受け入れがたいということもあるのかなと、いうようなことも思います。 それから、事務局にお尋ねしたいんですが、もう少しさらに、今のご説明では、入って来る対象の中学校ということでしたけれども、広く一般に聴いたらいいというのはないのでしょうか。もしありましたら、教えていただきたいんですけれども。
会長	事務局、アイディア持ってらっしゃいますか。
事務局	広く一般に聴いた例というのは、この中学校に聴いた例の中に、合わせて、立地している高校の、立地の市の複数の公共施設に2カ月程度、制服を展示して、それについて、どちらがいいだろうかというようなことを、一般の方に投票してもらうというか、展示して意見を貰うというのがありました。 ただそれは、今回の高知県のように、今は菅公さん1社に決まっていますけれども、まだ決まる前の複数の業者が、まだ決まってない、争っている段階でアンケートは取りました。しかし、まだ業者が決まってない段階でしたので、ちょっと偏りが見られても困るということで、アンケートは実施したんですけれども、結果的にそのアンケートは、最終的な選考には反映しなかったという事例が1例あるだけでございます。 それ以外に、インターネットとか、そういった例は確認しておりません。今、確認しているのは、近隣の中学校6校に聴いたのと、それと一つは、市内の女子高に聴いたのと、その7例

	でございます。以上でございます。
会長	はい、ありがとうございます。あまり妙案はないということですね。インターネットで尋ねるとするのは、関係者に尋ねることにならないかもしれないですね。何か良い意見はないですか。
委員	かまいませんか。
会長	はい、どうぞ。
委員	もう1点、事務局にお尋ねしたいのですが、こういったアンケートを例えば県内全ての小学生に、まあ6年生とか限定してもいいと思うんですけども、した場合に、そんな1週間、2週間で聴くというのは、ちょっと難しいのではないかなと思うんですけども。 やはり開校に向けて、今準備を取り組んでいるところで、10月に第4回で決定というスケジュールの中で、果たして事務的に、物理的に、そういったことがそもそも可能なんでしょうか。
会長	いかがですか。
事務局	その点につきましては、この委員会で、10月中に選考委員会で、最終の候補というのを決めないといけません。この審議会の中で、そういうふうに決まれば、それに向けて準備を進めていく必要があるのかなと、いうふうには思っております。 先ほどもお話ししましたが、臨時の選考委員会をというようなことも、ちょっと提案させていただきましたので、それと合わせて、もし両方やるということになれば、精力的にする必要があるのかなというふうには思っております。 ただ、その方法としては、いろんな方法が考えられると思いますので、そういったことも含めて、時間をかけない方法というのも、検討していく必要があるのかなとは思っております。 以上です。
会長	その、時間をかけないというのは、具体的なやり方が、今あるんですか。
事務局	ほかの県の例では、例えば、学校説明会に来た子どもさんに聴くとかいうこともありますので、その是非についても意見はあると思うんですけども、学校説明会に来た方への意見を聴いた例も他県ではありますので、そういったところも、一つの参考になるのではないかなというふうには思っております。

会長	ということは、まず高知県全ての小学校 6 年生に尋ねるというようなことは、やれとなればやるけど、なかなか難しいということでしょうかね。私も想像するに、それは大変な作業なのかなと思うんですけども。 で、その代替案として、学校説明会に来た方に聴く、ですか。学校説明会はいつやるとかいう計画はあるんですか。
委員	今日は高知西高校の副校長という立場で来ていますけれども、高知国際中学校の副校長も兼ねておりますので、10 月 1 日に実施をするように、今計画を進めておりますが、先着 500 名というようにしております。 ですので、今もこれまで、1,300 名の方が、前の 3 月にはおいでいただいて、また 7 月にやった時には、300 名の方がおいでいただいているような状況の中で、学校でやることですので、当然キャパシティの問題があって、500 名としておるんですけども。 ですから、そういうなかで、しかも前置きもなく、来た人が偶然聴かれたというようなアンケートの取り方というのは、ちょっと。かなり一部の方に限定されてしまうのではないかと。そういったデータを参考にして決めるというのも、まあ参考にならないことはないと思うんですけども、ちょっと数字的にも、ほとんど大人だと思いますので、今度は保護者対象になっておりますので、子どもさんの数というのはどうなのかということで、大人の意見になってしまいはしないかという懸念もございます。
会長	はい、そうですね。たまたまそこに来た、たまたまという言い方はちょっとあれなのかもしれませんが、その方たちだけが関係者だとは言えないしという、そこだけの意見を取り上げるというのは、少し問題があるようですね。 先生、何かご意見は。
委員	私は学校関係者ではないので、ちょっとピント外れなことをしゃべってしまうかもしれませんが。 つまり、制服というのは私服ではないので、なんというか、教育、小学校から上がって来て、子どもたちを 6 年間預かって、我々の社会の構成員として一人前になってもらうための修行の 6 年間で、どう過ごすかという話ですよ。 その時にどんな服装であるべきなのかというのは、教育内容と同じくらい重要な話だと思うんですよ。例えば、国語のカリキュラムとか数学のカリキュラムをどうするかということについて、アンケートを取るかといったら取らない。小学生に聴いたりしないし、父兄にも多分聴かないです。そういうレベルの話ではないかと思うんですよ。 例えば、PTA の、非常に教育に造詣の深い親御さんの代表み

	たいな方とか、そういう方に話を聴くっていうのは、あり得るかもしれないなと思うんですけども、そういうカリキュラムについて教育を受ける側の方に、どのくらい話を聴くものなのか、私に知識はないんですが、制服について議論する時も、そういうものと同じ扱いでいいんじゃないかというふうに思います。以上です。
会長	はい、ありがとうございます。まあ、アンケートを取る必要はそもそもないということですね。 ぜひやりましょうということについての積極的な意見は、今まで、要するに出ていないのかなと思います。 先ほど、事務局から説明がありましたように、まず在校生への意見聴取については、学校行事が立て込んでいる時期なので、今、先生方も多分そう思われると思うんですが、できれば止めてほしいと。それから、学校外の方への意見聴取は、現実的にやっぱりこれも難しいということでしょうかね。 で、学校説明会に来られた方へ聴くというのも、あまり適切ではないということですので、私もそれ以外に、意見聴取をするためのいいアイディアも持っておりませんので、ここは、委員会としてはもう、やらないということになりますでしょうか。それでよろしいですか。
各委員	はい。
会長	ありがとうございました。 前回、ひょっとしたら私が言ったんじゃないかなと思うんですが、意見聴取をした方がいいんじゃないかというような。しかし、色々調べていただいたり、改めてご意見をいただいた結果、意見聴取は行わないということにしたいと思います。ありがとうございました。 では、続きまして、先ほどの臨時の選考委員会を開催するかどうか。そして、今、意見聴取はもうやらないということになりましたので、それは考えなくていいですかね。 では、臨時の選考委員会を開催するかどうかについて、ご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。 先ほども、ちょっと私、この内容を判断し直しましたが、どこまでここで決めていいかも、ちょっと今、はっきりしないということもあります。 それから、改めてもう一回、組み合わせを考えてみた方がいいんじゃないかという、課題も残っている気がしますので、やはり、私としてはもう一度、順位を決める前に話し合う場があった方がいいのではないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。
各委員	はい。

会長	よろしいですか。この後、校章の方を検討しなければなりません。では、臨時の会を第4回の前に開催するということにしたいと思います。よろしいですか。 事務局、以上2点決まりましたので、よろしいですかね。 では、以上で制服についての検討は終わりたいと思います。委員の皆様、どうもありがとうございました。
事務局	すみません。1つ確認なんですけども、今日、意見聴取を行わないということになったんですけども、一応、学校関係者、PTAさんとか校友会とか、そういう方への意見聴取については、最初の、教育委員会の方針にありますので、そこは9月下旬から10月にかけて、ちょっと聴取させていただきますので、そこだけ確認をさせていただきたいと思います。 もともと、資料1のスケジュールの方にも入っておいりましたので、そこだけは。在校生からは聴かないですけども、学校関係者、PTAさんとか校友会さんとか、そういった方からは聴くことになりますので、そこだけちょっと確認です。
会長	あ、そうですね、大変失礼しました。生徒には意見は聴取しないということですね。それでよろしいですか。 はい、大変失礼しました。生徒からの意見は聴かないけれども、学校関係者からの意見は聴くと。 そうすると、臨時の選考会を、その意見聴取の前か後に行うかも、ここで決めなきゃいけないということですね。いかがいたしましょうか。 やはり、前におこなった方がいいですよ。意見聴取の前にね。よろしいですか、委員の皆さん。 では、第4回の前の臨時の選考会は、学校関係者への意見聴取を行う前に開催するということにいたしたいと思います。よろしいですか。
各委員	いいです。
会長	はい、大変失礼しました。では、これから、会場設営を行う必要もありますので、10分休憩を取りまして、14時55分に再開をさせていただきたいと思います。 なお、会議冒頭に事務局から説明がありましたように、次の校章候補の第1次選考については、非公開となっておりますので、よろしく願いいたします。 では、休憩に入ります。 〈 休憩 〉

【校章候補の第1次選考の概要】

ア 第1次選考の方法について

事務局	校章候補の募集及び公募の状況を説明する。
事務局	選考方法の方針及び選考方法の具体について説明する。
各委員	方針通りで選考することを確認する。

イ 須崎総合高等学校の校章候補第1次選考

各委員	1人6票で投票後、協議のうえ6点を選考。
-----	----------------------

ウ 高知国際中学校・高等学校の校章候補第1次選考

各委員	1人6票で投票後、協議のうえ6点を選考。
-----	----------------------